

2015年10月30日

報道関係者 各位

大和リース株式会社
代表取締役社長 森田俊作

■ ゴルフ場跡地を利用した太陽光発電施設

「DREAM S o l a r ひぐち長崎」が完成しました

大和ハウスグループの大和リース株式会社（本社：大阪市、社長：森田俊作、以下：「大和リース」）は、長崎県西彼杵郡時津町（にしそのぎぐんとぎつちょう）のゴルフ場「ひぐち時津カントリークラブ」※1跡地において、総出力約 15MW（メガワット）のメガソーラー（大規模太陽光発電施設）「DREAM※2 S o l a r（ドリームソーラー）ひぐち長崎」を建設しました。

本物件は 2014 年 4 月に三巴産業株式会社（ひぐちグループ、本社：長崎市）と事業協定書を締結し、2014 年 8 月に着工しました。2015 年 11 月 2 日（月）より、当施設で発電した電力を九州電力株式会社に全量売電します。

※1. 1983 年 3 月に営業を開始し、2014 年 6 月末に営業を終了。運営は三巴産業株式会社。

※2. D:Daiwa House Group（大和ハウスグループ）、R:Renewable（再生可能）、E:Energy（エネルギー）、A:Asset（資産）、M:Management（管理）。



■「DREAM Solar ひぐち長崎」について

当施設は大和リースが発電事業者となり、2015年11月より20年間の運営管理を行います。大和ハウス工業株式会社が設計・施工、大和ライフネクスト株式会社が施設の維持・管理を担当し、建設から運営までを大和ハウスグループが行うことで、再生可能エネルギー事業のワンストップサービスを提供します。

現在、国内では低炭素社会の実現に向けて、太陽光発電施設の建設が活発化しています。大和リースにおいても再生可能エネルギー関連事業に取り組んでおり、2015年10月30日現在では国内計32カ所（総出力約30.63MW）で稼働しています。

今後も大和ハウスグループは、「風」「太陽」「水」の再生可能エネルギー資源の有効活用をテーマに自社未利用地の活用をはじめ、自治体や各企業が保有する未利用地なども活用した再生可能エネルギー事業について、創業以来培ってきた技術力を活かし、2018年度までに計200MWの再生可能エネルギーによる発電事業に取り組みます。

■太陽光発電施設の概要

事業名称	DREAM Solar（ドリームソーラー）ひぐち長崎
所在地	にしそのぎぐんとぎつちょうさそごうあざうばがさこ 長崎県西彼杵郡時津町左底郷字姥ヶ迫1475番 （「ひぐち時津カントリークラブ」跡地利用）
敷地面積	660,000 m ² （ゴルフ場敷地）
施設面積	245,583 m ² （太陽光発電施設使用面積）
発電事業者	大和リース株式会社
土地所有者	三巴産業株式会社（ひぐちグループ）
設計・施工	大和ハウス工業株式会社
維持・管理	大和ライフネクスト株式会社
着工	2014年8月20日（水）
竣工	2015年9月30日（水）
売電開始	2015年11月2日（月）
事業期間	20年間
太陽電池モジュール容量	約15,022kW（約15MW）
太陽電池モジュール	シャープ製（出力250W、60,088枚）
年間予想発電電力量	約15,808,869 kWh／年
年間売電売上	約5億6,900万円（見込み）
総事業費	約113億8,000万円
環境貢献効果	CO ₂ 排出削減量 約7,976 t／年 ^{※3} 家庭の電力量にすると 約3,339世帯／年 ^{※4}

※3. 0.5045kg-CO₂/kWh、太陽光発電協会、業界自主ルール。

※4. 住宅1世帯 4,734kWh／年、経済産業省資源エネルギー庁「省エネ性能カタログ」掲載数値。

■建設場所



大和ハウスグループの太陽光発電事業
DREAMSolar



私たちは、「未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、
現在と未来をつないでいきたい」との思いのもと、すべての企業活動を通じて、
地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

●本件に関するお問合せ●
大和リース株式会社 本社 広報販促室
tel : 06-6942-8068